【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2005-235758(P2005-235758A)
【公開日】平成17年9月2日(2005.9.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-034
【出願番号】特願2005-14135(P2005-14135)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｊ　31/12　　(2006.01)
Ｈ０１Ｊ　29/87　　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　 5/66　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｊ　31/12　　Ｃ
Ｈ０１Ｊ　29/87
Ｈ０４Ｎ　 5/66　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月14日(2006.3.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の電子放出素子と、前記複数の電子放出素子の一部の素子に挟まれて位置し、低電位に規定された第一の導体とを有する第１の基板と、
該第１の基板に対向配置され、前記第一の導体よりも高電位に規定された第二の導体を有する第２の基板と、
前記第１の基板と該第２の基板との間に、前記第一の導体に沿って配置され、前記第一の導体と前記第二の導体とに接する抵抗膜で被覆されたスペーサとを有する電子線装置において、
前記第一の導体及び／又は第二の導体に接する側の、前記スペーサの前記抵抗膜で被覆された面は、前記スペーサを挟む素子を含み且つ前記第１の基板及び／又は第２の基板の法線と平行な平面で前記スペーサを切った断面において前記法線方向と平行なスペーサの中心線に対して概ね対称となるような凹部を備えることを特徴とする電子線装置。
【請求項２】
複数の電子放出素子と、前記複数の電子放出素子の一部の素子に挟まれて位置し、低電位に規定された第一の導体とを有する第１の基板と、
該第１の基板に対向配置され、前記第一の導体よりも高電位に規定された第二の導体を有する第２の基板と、
前記第１の基板と該第２の基板との間に、前記第一の導体に沿って配置され、前記第一の導体と前記第二の導体とに接する抵抗膜で被覆されたスペーサとを有する電子線装置において、
前記第一の導体及び／又は第二の導体に接する側の、前記スペーサの前記抵抗膜で被覆された面は、前記スペーサを挟む素子を含み且つ前記第１の基板及び／又は第２の基板の法線と平行な平面で前記スペーサを切った断面において前記法線方向と平行なスペーサの中心線に対して概ね対称となるような凸部を備えることを特徴とする電子線装置。
【請求項３】

前記凹部の高さは、前記第一の導体及び／又は前記第二の導体の表面粗さより大きいことを特徴とする請求項１記載の電子線装置。
【請求項４】
前記凸部の高さは、前記第一の導体及び／又は前記第二の導体の表面粗さより大きいことを特徴とする請求項２記載の電子線装置。
【請求項５】
前記第一の導体は、前記複数の電子放出素子の少なくとも一部と電気的に接続されている請求項１又は２に記載の電子線装置。
【請求項６】
前記複数の電子放出素子は２次元状に配列され、前記第一の導体は一方向に配列された複数の電子放出素子と接続される配線であり、前記第二の導体は前記複数の電子放出素子から放出された電子を加速する加速電極である請求項１又は２に記載の電子線装置。
【請求項７】
前記第２の基板は電子の照射により画像を形成する画像形成部材を備えている請求項１又は２に記載の電子線装置。
【請求項８】
複数の電子放出素子と、前記複数の電子放出素子の一部の素子に挟まれて位置し、低電位に規定された第一の導体とを有する第１の基板と、
該第１の基板に対向配置され、前記第一の導体よりも高電位に規定された第二の導体と、前記電子放出素子から放出された電子ビームの照射によって画像を形成する画像形成部材とを有する第２の基板と、
前記第１の基板と該第２の基板との間に、前記第一の導体に沿って配置され、前記第一の導体と前記第二の導体とに接する抵抗膜で被覆されたスペーサとを有する画像表示装置において、
前記第一の導体及び／又は第二の導体に接する側の、前記スペーサの前記抵抗膜で被覆された面は、前記スペーサを挟む素子を含み且つ前記第１の基板及び／又は第２の基板の法線と平行な平面で前記スペーサを切った断面において前記法線方向と平行なスペーサの中心線に対して概ね対称となるような凹部を備えることを特徴とする画像表示装置。
【請求項９】
複数の電子放出素子と、前記複数の電子放出素子の一部の素子に挟まれて位置し、低電位に規定された第一の導体とを有する第１の基板と、
該第１の基板に対向配置され、前記第一の導体よりも高電位に規定された第二の導体と、前記電子放出素子から放出された電子ビームの照射によって画像を形成する画像形成部材とを有する第２の基板と、
前記第１の基板と該第２の基板との間に、前記第一の導体に沿って配置され、前記第一の導体と前記第二の導体とに接する抵抗膜で被覆されたスペーサとを有する画像表示装置において、
前記第一の導体及び／又は第二の導体に接する側の、前記スペーサの前記抵抗膜で被覆された面は、前記スペーサを挟む素子を含み且つ前記第１の基板及び／又は第２の基板の法線と平行な平面で前記スペーサを切った断面において前記法線方向と平行なスペーサの中心線に対して概ね対称となるような凸部を備えることを特徴とする画像表示装置。
【請求項１０】
請求項８又は９に記載の画像表示装置と、テレビ信号受信回路と、該画像表示装置と該テレビ信号受信回路とを接続するインターフェース部とを有するテレビジョン装置。
【請求項１１】
前記画像表示装置は前記スペーサによる輝度ばらつきを抑制する回路部を有し、該回路部は前記インターフェース部からの画像信号を補正することを特徴とする、請求項１０に記載のテレビジョン装置。